



# ぴらぴだより

No.13. 2023. 3. 17

子どもたちに育てられている

「おおくりって、こんな楽しいことしていただね」と言って始まったおおくりさんたちの一年が終わりました。わくわくといろいろなことを計画し、わいわいと言いたいことを話し合い、たくさんの意見の違いがあり、山ほどけんかもしました。これから先、♪「しょうがっこうにいったら」の歌詞のように「♪おべんきょう、むずかしい？まえにおともだちとなかなかおりましたときが、もっとずっとむずかしかったとおもうから♪」を実感するのではないかと思います。子どもたちの生きる力をこれからもぼろびっぴで応援していけるのが楽しみです。

亮太朗くん、康介くん、信敬くん、杏ちゃん、にほちゃん、仁菜ちゃん、奏空くん、柚琉くん、英佑くん、周くん、准くん、卒園おめでとう！

今年度のおおくりさんたちは東京の私立校に2人、9人は長野県の公立校に進みます。公立校でも私立校でもいろいろな先生がいます。価値観の違い、思うようにいかない先生にも出会うでしょう。私は子どもの言い分を「そうだね」「そんな気持ちなんだね」と受け止めながら（受け入れではありません）、先生から学べないと思った年は、そんな先生との一年も全て学びだと思って、足りない部分を家庭でどんな補い方ができるかを考えました。いろいろな先生と出会いました。働いていましたが、4人の子どもたちが小学校時代にそれぞれのクラスで一回はクラス委員をしようと決めていました。

三女の時は4年3組の時に引き受けました。担任は転校されてきたばかりの浦野先生。二十代後半でした。年度当初の保護者会でクラス委員を決める時、「やらせていただきます」と手を挙げました。するとすぐに古木さんという方が手を挙げ、「兄のクラスで1時間経っても決まらないのに、手を挙げる人がいて感動しました。私もやらせていただきます」あっという間に決まりました。やるからには好いクラスになるようなお手伝いをしたいと古木さんと話し合いました。日ごろの保護者会でざっくばらんに話せる雰囲気を作ったり、クラス全員の家族と浦野先生と秋川溪谷や高尾山にも出かけました。100人位の参加者でした。ある時、仕事の都合で私が行かない保護者会に夫が出席しました。それがきっかけで「お父さんの会」が立ち上がり、吉祥寺のコミュニティセンターの調理室でおしゃべりしながらおつまみを作り、飲みながらの「お父さんの会」が何回も行われました。途中からお母さんたちも混ぜてほしいと言い出し、父母の会になりました。5年生になってクラス替えがあり、担任も変わりましたが6年生卒業まで4-3の集まりは続きました。浦野先生が「楽っ子の会（らっこの会）」と命名、「子どもたちが楽になる、大人たちが楽になる」というような意味だったと思います。子どもたちが中学生になり、楽っ子の会で伊豆は下田に一泊旅行に出かけました。子どもたちはだんだん忙しくなり、高校以降は父母と先生ご夫妻だけの集まりになり、今でも続い

ています。年に数回の吉祥寺界限での飲み会、年に一回の旅が定番です。福井県、石川県、長野県…などの温泉泊、その内、モンゴルや台湾や…外国にも行くようになりました。会えば子どもたちの話を安心して語り合える場になっていますが、今、子どもたちは45歳、浦野先生も六十代、父母たちは七十代、自分のことを語り合うことも多くなりました。浦野先生は昨年、『気になる子どもの心に寄り添う 教師のための心理術』(明治図書)という本を出版され、今でもわいわいと教育の話題にもなります。浦野先生がこの春退職されることになり、3/25に吉祥寺で「退職ご苦労さん会」を開くことが決まりました。浦野先生はよく「この父母の繋がりの中で気づかされた、育てられた」と話されていました。4-3の時から35年、先生にとっても保護者にとっても子どもたちにとっても、一つの豊かな繋がり方、在り方だったように思います。

私も子どもたちに育てられていることを実感する日々です。1月から始まった「育ちのカードミーティング」では、49人の子どもたち一人ひとりを10人の保育スタッフでたっぷり話し合い、形にしていきます。文章化していくには産みの苦しみもありますが、いつの間にか、子どもたちに語りかけている自分がいて、いつか文を読めるようになった時や、言葉の機微がわかるようになった時に前を向ける勇気や道しるべになったらいいなと願いがこもっていきます。そして、毎回、子どもたちにたくさんの気づきをもらい、子どもたちに育ててもらっていることを実感します。社会学者上野千鶴子さんが「老いとはものが分かるようになること」「老いとは進化」と話されたのを知り、思わず「そうなのです!」と叫んでしまいました。まだまだ考えたい、知ることが楽しいと思える毎日です。私はぴっぴやぼろぴっぴの子どもたちと育ち合っている!進化している!何と幸せな日常でしょう。

これからも柔軟に、与えられたものに感謝を忘れずに、そして自分の中に限界を作らないように、と今回の育ちのカードを書き終えて思ったことでした。

また新しく始まる春が楽しみです。緩み始めたくりさんたち、次から次とおもしろいことを考えるまつぼっくりさんたち、今からつるんで自分たちの楽しいと思ったことに進んで行ってしまおうどんぐりさんたち、どんな日々を創り出すんだろう。

どんぐり、まつぼっくり、くりの保護者の皆さま、この一年もたくさんの応援を感じていました。何よりも笑い合いながら子どもたちのことを語り合ってきました。新しく始まる春からも、私たち大人も手をつないで、子どもたちに負けないくらい喜び合いながら年を重ねていきましょう。

4月11日(火)ぴっぴの森でお待ちしています。

そしておおくりの保護者の皆さま、それぞれの想いでぴっぴを愛し、育てて下さってありがとうございました。不安になったり骨休めしたくなったらいつでもぴっぴの森に帰って来て充電して下さいね。4月8日のぼろぴっぴでお待ちしておりますね。

ぴっぴの森!2022年度もみんなを見守り、育ててくれてありがとうございました。

皆さま、好い春休みをお過ごしください。

: 中澤真弓



# 木のいきもの子育てばなし 総集編

木のいきものたちの子育て話、12ヶ月綴ってきましたが、みなさんいかがでしたでしょうか？

今月は、総集編ということでこの年お伝えしてきた木のいきものたちを一勢に並べてみました。

印象的だったものはありますか？ ひとりの子ども達の成長とともに森の中にもたくさんの命が生まれ育っていくことも少しでも感じていただけたら、とても嬉しいです。1年間ありがとうございました！



4月 シジュウカラ

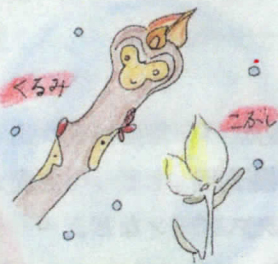


5月 オシタ  
ぐるりんぼ



6月 オトシノミの  
ゆりかご

また森で  
会いましょう〜♪  
菜々恵



2月 冬井



7月 マムシグサ



1月 ツキノログマの出産と子育て



3月 エナガ

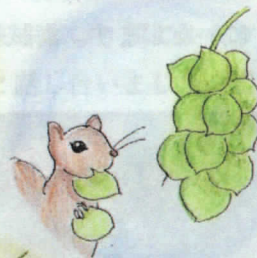


8月 ムササビの  
子育て



12月 ヤドリギ

めぐる季節、育まれる命  
たくさんの子育てのかたち...  
森はまた、新しい春が  
やってきますね。



11月 ゆりかごの  
どんぐり帽子



10月 木の奥と小鳥たち

9月 オウゴン  
ヒリス